# （公財）日本体操協会

# 令和２年度９月理事会議事録

1. 日　時　令和２年９月４日（金）１７時００分～１８時２０分

2. 場　所　リモート会議　（Microsoft Teams 使用）

3. 出席者　＜理事・監事＞

出　席

具志堅幸司(副会長)、竹内輝明(副会長)、長谷川洋子(副会長)、荒木達雄(副会長)、
山本宜史(専務理事)、遠藤幸一(常務理事)、水鳥寿思(常務理事)、田中光(常務理事)、
山﨑浩子(常務理事)、竹村英明(常務理事)、後藤洋一(常務理事)、
岩瀬史子(常務理事)、米田功(常務理事)、加納実(理事)、萩原智子(理事)、
加藤裕之(理事)、川人亜矢子(理事)、田中理恵(理事)、村木啓造(理事)、
髙橋史安(監事)、竹田幸夫(監事)

理事１９名・監事２名

欠　席

二木英徳(会長)、田坂利明(理事)

２名

＜関係者＞

出　席

渡辺守成（顧問）、渡邉榮（事務局長）、守永直人（事務局）、

３名

4. 議題

審議事項１　2021W 杯ドーハ選手派遣ついて
審議事項２　2020－21 年度全日本選手権出場資格について(追記)
審議事項３　2020 年度男子ナショナル強化選手選考基準について
審議事項４　令和２年度　男子 U-21（大学生）強化選手選考について
審議事項５　第 74 回全日本個人総合選手権ジュニア推薦枠選考手順
審議事項６　第２回ナショナル強化合宿
・ジュニアナショナル強化合宿日程について
審議事項７　倫理規程改定について
報告事項１　スポーツ団体ガバナンスコード適合審査について現状報告
報告事項２　令和２年度『協会三賞』贈呈準備開始の件
報告事項３　令和２年度 JOC スポーツ国際政策推進基盤の形成プログラム研修会
報告事項４　強化本部員退職について

5. 具志堅副会長ご挨拶

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンライン会議となった。新型コロナウイルス感染症もまだ予断を許さないが、対策を講じて強化を進めなければいけない。

9 月には男子新体操オンライン選手権、全日本シニア大会が予定されている。コロナ禍での今年度初めての大会であり、今後の大会運営の試金石となる。

以降も新体操、トランポリンと大会事業が予定されている。関係各位に協力をお願いする。

6. 議長選出

定款 38 条第 2 項の定めにより、議長は、具志堅幸司副会長が議長に選出された。

7. 定足数確認

出席 19 名で定款 39 条の定足数に達している。

8. 議事録署名人

定款 43 条第 3 項にしたがい、出席理事及び監事が議事録署名人になることが説明され、全員異議なく承認された。

9. 議事

審議事項 1　　2021W 杯ドーハ選手派遣ついて

議長の使命により、男子体操・水鳥寿思強化本部長は資料をもとに説明を行った。

ワールドカップドーハ大会に現時点では派遣無しであったが、1 年延期となったため、12 月全日本選手権において各種目最大 2 名を派遣したい。亀山耕平選手をシード選手としたい。派遣基準は世界ランキング 3 位に入るような実力者とする。

具志堅副会長　亀山選手は得点が高いのか。
水鳥本部長　現在の実力からすると出場権を得る確率が高いのでシード選手としたい。
具志堅副会長　種目は
水鳥本部長　あん馬

以上の質疑の後、審議事項 1 は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項 2　　2020－21 年度全日本選手権出場資格について(追記)

議長の使命により、男子体操・水鳥寿思強化本部長は資料をもとに説明を行った。

第 75 回全日本個人総合選手権大会の予選通過枠が決まっていたが、大会が中止となった場合の条件を追加した。12 月全日本が開催されなかった場合は、12 月全日本に出場権者に割り当て、トライアウトで獲得する数にて調整する。トライアウトが中止となった場合。トライアウト用のビデオ審査にて出場枠を与え、シ

ニア選手権、学生選手権が中止となった場合は前年度の成績をもとに割り当てる

具志堅副会長　ビデオ審査は一番出来の良い内容を提出か
水鳥本部長　その通り。
後藤理事　ビデオ審査に１日撮影など条件を付けてはどうか
水鳥本部長　確認作業が難しい。ポテンシャルを探りたい。

以上の質疑の後、審議事項２は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項３　　2020 年度男子ナショナル強化選手選考基準について
議長の使命により、男子体操・水鳥寿思強化本部長は資料をもとに説明を行った。

第 74 回全日本が１日開催だった際の条件を決めていなかった。１日で開催する場合は１日の成績で決定する。

加納理事　種目別優勝と世界ランキング３位以内とあるが、両方満たす必要があるか。
水鳥本部長　両方必要

以上の質疑に後、審議事項３は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項４　　令和２年度　男子 U-21（大学生）強化選手選考について
議長の使命により、男子体操・水鳥寿思強化本部長は資料をもとに説明を行った。

大学生によって練習状況が変わり、各所属から要望が来た。12 月の全日本で６名選考し、残りの６名を強化部推薦としたい。

特に、意見もなく、審議事項４は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項５　　第 74 回全日本個人総合選手権ジュニア推薦枠選考手順
議長の使命により、男子体操・水鳥寿思強化本部長は資料をもとに説明を行った。

内訳が決まっていなかった 12 月全日本へは鯖江大会から上位２名
４月の全日本へは、鯖江大会から１名＋1，２年生１名、３月高校選抜から３名としたい。
３月のトライアウトへは、鯖江大会から６名としたい。

遠藤理事　大会が中止になった場合は
水鳥本部長　トライアウト通過枠を増やす形で対応したい。

以上の質疑の後、審議事項５は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項６　　第２回ナショナル強化合宿・ジュニアナショナル強化合宿日程について

議長の使命により、女子体操・田中光強化本部長は資料をもとに説明を行った。

第２回をナショナルを 11 月 5 日～8 日に、ジュニアナショナルを 10 月 2 日～5 日開催したい。

以上の質疑の後、特に、意見もなく、審議事項６は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

審議事項７　　倫理規程改定について

議長の使命により、総務委員会・遠藤幸一委員長は資料をもとに説明を行った。

相談窓口へ 8 年～10 年前の案件が来る。コンプライアンス委員会として審議の結果、弁護士規定を採用し、対象期間を行為発生から 3 年以内としたことを反映して条文を新設。その他、実態にあわせた名称変更。改定日付は本日としたい。

特に、意見もなく、審議事項７は、原案通り、全会一致で承認・可決された。

報告事項１　　スポーツ団体ガバナンスコード適合審査について現状報告

議長の使命により、山本宜史専務理事は資料をもとに説明を行った。

ガバナンスコートの現状報告。当初 2020 年 6 月末に自己説明の予定であったが、コロナの影響で 2021 年 1 月に自己説明。2021 年 7 月書類提出。2022 年 2 月に適合審査結果公表へと延期となった。
適合審査結果次第では、次年度助成金に影響が出ることがある。
地方団体にも求められるため、協力してやっていきたい。

報告事項２　　令和２年度『協会三賞』贈呈準備開始の件

議長の使命により、総務委員会・遠藤幸一委員長は資料をもとに報告を行った。

例年通りの予定。授与形式は変更の可能性がある。

報告事項３　　令和２年度 JOC スポーツ国際政策推進基盤の形成プログラム研修会

議長の使命により、国際委員会・竹内輝明委員長は資料をもとに報告を行った。

JOC 主催プログラムにトランポリンの武藤真也氏を推薦した。武藤さんは FIG 技術委員に立候補予定。

報告事項４　　強化本部員退職について

議長の使命により、新体操・山﨑浩子強化本部長は下記の報告を行った。

本部員の三浦莉奈さんから退職希望があり受理した。

**報告事項・その他**

・山本専務から、9 月以降の大会計画について秋から大会を再開したい。事業計画に記載された日程の確認をお願いしたいとの報告があった。
・村木理事より、鹿児島国体 2023 年になるとの報道があった。それに伴い男子新体操はどうなるのかの問いに対して、山本専務より、まだはっきりしていない。現在確認中。翌年の滋賀延期開催についても回答が来ていないため、情報入り次第共有するとの回答がなされた。

議長は、すべての議案の終了を確認し、18 時 20 分に閉会を宣言した。

令和 2 年 9 月 4 日

議　長　　具志堅　　幸　司

出席理事　　竹　内　　輝　明

長谷川　　洋　子

荒　木　　達　雄

山　本　　宜　史

遠　藤　　幸　一

水　鳥　　寿　思

田　中　　光

山　﨑　　浩　子

竹　村　　英　明

後　藤　　洋　一

米　田　　功

岩　瀬　　史　子

加　納　　実

萩　原　　智　子

加　藤　　裕　之

川　人　　亜矢子

田　中　　理　恵

村　木　　啓　造

出席監事　　髙　橋　　史　安

竹　田　　幸　夫